

いつまでも地域で暮らせるための 住宅リフォーム事業

平成23年度
採択事業

合同会社

あんばい

代表

草島

恵子さん



左から、設計部部長 安西保雄さん、
代表 草島恵子さん、主任 沼尾静里菜さん

同じ想いを持つ二人でスタート

合同会社あんばいは、建築を専門とする代表の草島恵子さんと、介護福祉を専門とする沼尾静里菜さんが、

2010年に設立した要介護者向け住宅改修を手掛ける会社です。介護保険制度には、給付を受けている要介護者等が、自宅に手すりを取り付ける等の住宅改修を行おうとすると、実際の住宅改修工事費（上限



介護保険を活用した住宅改修の事例（手すりの取付け）

20万円）の9割が支給される制度があります。支給対象となる住宅改修工事費の内容は、（1）手すりの取付け、（2）段差の解消、（3）滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更、（4）引き戸等への扉の取替え、（5）洋式便器等への便器の取替え、の5項目と、それらに付帯して必要となる住宅改修に対する工事費です。お二人は、大阪のNPOで高齢者

や障害者の住宅改修の相談員として勤務したご経験から、このような介護保険制度を活用し、誰でも住み良い住宅改修を行うニーズと必要性を多分に感じていました。しかし、相談員としてはその先の改修現場に介入することは難しく、コスト、デザイン、部材などに関して提案や工夫の余地があると感じつつ、実現できないもどかしさがあったといいます。

また、直接介護だけが介護ではな



介護保険を活用した住宅改修の事例（上…利用しにくい和式便器、下…洋式便器、手すりも設置）



福祉の向上・子育て支援

く、利用者さんの本当の望みである在宅生活を維持していくための、住まいとしての建築の改善が最も大切なのではないか、という面でも、お二人は同じ想いを抱いていました。それらの想いを実践するためには、福祉の目で建築を見ながら改修提案を行い、本当に必要なところに手が届く介護を実現していきたいと、互いの強みである建築と介護福祉の力を結集するに至りました。また、介護保険の住宅改修費支給には、ケアマネージャー等への相談から必要な改修内容の確認、工事終了後の確認など、必要書類の作成と提出などの手続きが必要です。煩わしい手続きなども併せて支援することで、利用者さんに出来るだけ早く住み良い環境を提供し、それ以外の負担をできるだけ軽減してあげたいといいます。

ファンドをきっかけに信頼度が高まる

組織形態として合同会社を選択したのも、利用者さんの負担軽減策の1つでした。工事完了後、保険給付分（9割）を、工事を受けた施工業者に対して直接支払う「受領委任払い」制度を活用すると、受給者は当初から1割の自己負担で済むという利点があります。ただし、施工業者が個人ではなく事業者であることなどの要件があるため、法人化を図りました。また、合同会社は、出資者が業務執行を行うため意思決定を迅速に行えるメリットがあり、より早い問題解決や事業実施が可能です。社員同士の信頼感があり、お客様第一の事業体制として、あんばいにとっては合同会社が最も相応しい形だったと振り返ります。

また、ファンドに採択され、会社としての体裁を整えることにより、信頼度が高まったといいます。ホームページ、カタログなどの営業ツールも揃い、お客様にも安心してサービスを提供できるようになりました。「ファンドの申請書作りや自己資金集めに頑張った。最終面談では堂々と事業内容を伝えることができ、それも大きな自信になりました。」と、草島さんと沼尾さんは声を揃えておっしゃいます。はじめは、沼尾さんの出身大学の先生に相談し、紹介していただいた各種団体の方などに話を聞いて頂き、またご紹介頂いた地域包括センターなどに営業に回る…などするうちに、少しずつ仕事につながっていったとのこと。今は、蒔いた種が少しずつ芽を出してきた大切な時期。構造計算を担当する安西保雄さんも加わり、3人の役割分担で事業の幅を広げ、説得力のある組織を築いています。

現在では、介護福祉が専門の沼尾さんも、営業から受

託契約、現場監督から完了手続きまで、一通りをこなしています。沼尾さんは草島さんに、よく「とにかく早くしてあげた



今では介護福祉が専門の沼尾さんが、営業から現場まで全てをこなすように

いんです」と現場の声を届けるそうです。その声に、草島さんは技術的にフォローしながら、失敗も糧にして成長してほしいと見守ります。「上司、部下というより仲間同士と言った方が相応しい」と草島さん。素直に言い合えるお二人の信頼関係があるからこそ、お客様に安心感をお届けできるのでしょう。

利用者さんの希望になりたい

誰でもご自分の家が一番安心できる場所。ほとんどの利用者さんは、最後までご自分の家で安心して住みたいと思っているはず。改修させていただいたお客様の中には、末期ガンの方がいらっしやり、とにかくできる所から早くと手すりを設置したところ、「ああ嬉しい、これで楽になる」と笑顔になられたそう。しかし、その晩に倒れられ帰らぬ人に…。「最後の最後まで利用者さんに笑顔を届けたい、利用者さんたちの希望になりたいんです。」と、草島さんと沼尾さんはその笑顔を思い出しておっしゃいます。手すり一本からのおつきあい、この先何十年経っても良かった、と思える住まい環境の提案が、あんばいが目指す介護の視点なのです。

事業概要

合同会社あんばい

http://www.ambai-sp.com/

代表：草島 恵子

業種：住宅リフォーム業

創業：平成22（2010）年 設立：平成22（2010）年

住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地

財団法人京都高度技術研究所 8B05

TEL：075-555-3425 FAX：075-326-2190